

令和5年度 日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2023021

プロジェクト名 芸術の秋だ！廃材で楽器を作ろう！！

プロジェクトの概要

建築解体現場などから出る廃材を再利用し、楽器にリメイクする。廃材をリメイクすることで、3Rの1つでもあるリユースの関心を深めることを目的とする。

また、コロナ禍で演奏の機会が減って音楽をやる人が少なくなっているので、作った楽器で演奏会を行い、音楽に触れる機会を増やすことを目標とする。

プロジェクトの結果・成果

当プロジェクトは、10月下旬から楽器の作成を始めた。廃材入手にあたって、条件に合う工務店や製材所がなかったため、今回は廃材として利用する予定だった材料をホームセンターで買い揃えた。また、ホームセンターでは端材も取り扱っていたため、本来の目的に沿って、端材を利用できる部分は積極的に取り入れた。

ホームセンターでは加工場があったため、当初の予定より費用を抑えて楽器制作を行うことが出来た。作成した楽器は、塩ビ管を使用したパイプホーン、木材の端材を使用した木琴、また、パイプホーンを作るにあたって残った塩ビ管の端材を使用したシェイカーである。

計8回の楽器作成日を迎えた後、2023年12月20日に、作成した楽器を使用した演奏会を行った。当初予定していた小学生との合同作業や、地域の人向けの演奏会は、日程調整が出来ず断念したが、日本大学津田沼キャンパス5号館のワークステーションを借りて、4号館と5号館に演奏会の宣伝チラシを貼り当日を迎えた。

演奏会では聞きに来てくださった人に向け、プロジェクトの概要を説明し無事演奏しきることが出来た。制作した楽器の数に対してプロジェクトメンバーが足りていなかったため、本学部にある軽音楽部(Blue Swing Jazz Orchestra)の人に協力してもらい、演奏を行った。演奏後は聞きに来てくださった人達に実際に制作した楽器に触れてもらう時間を設け、その後の楽器はさらに精度を上げて利用出来るように協力していただいた軽音楽部に贈与した。

当プロジェクトを通して、プロジェクトメンバーである私たちのみならずお客さんも、再利用して何かを作れる可能性を実感することが出来た。当初の予定とは異なる点もあったが、目的としていた3Rの1つであるリユースの関心を深めることが出来たと思う。

活動写真

